

【開催趣旨】

テーマ いま ^{ここ}寺に生きる ～問いとともに歩む生活を～
「ともに聞く いのちに出会う」

私たちの暮らしには、常に不安と迷いがつきまといまいます。思い通りにならない出来事を抱えながらも、どこまでも私の思いのままに生きようとしています。そのような私たちに大きな変化をもたらしたのが、未だ記憶に新しいコロナ禍によるパンデミックでした。

このことを機に、今まで形作られてきたものは、ことごとく揺らぎ始めました。

人々の繋がりは一変し、身近なことでは、葬儀法要までもが世間の価値観で執り行われるようになりました。亡くなられた方の生きてきた証は繋がりの無い個人的なものになり、これまで自明としていた常識は、容易に変わることを目の当たりにしています。

目まぐるしく変化する時代において、個人を超えた変わらないものとは何なののでしょうか。

このような時代だからこそ、人々の歩みに相続されてきた「いのち」を、ともに尋ねていくことが願われているのかもしれません。

講師よりのメッセージ

浄土真宗は、言葉の宗教といわれます。厳しい行があったり、座禅の行があったりはいたしません。「ナムアミダブツ」のひと言を称えることで目覚めをいただき、救いをいただく宗教です。親鸞聖人は、師・法然上人の「ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべし」という言葉に出会い、生きる方向がはっきりと決まりました。

仏事が大きく揺れ動く時代にあって、浄土真宗は何を私たちにメッセージしているのでしょうか。一緒に考えてまいりたいと思います。

期 日	2026 年 5 月 11 日（月）～12 日（火）
会 場	雨晴温泉 磯はなび 高岡市太田 88-1 Tel0766-44-6050（代）
講 題	「言葉に出会い、人は生まれる ～私にとっての仏事とは～」
講 師	二階堂 行壽 師
参加費	20,000 円 宿泊なし 5,000 円（夕食はありません）

講師のプロフィール

二階堂 行壽（にかいどう ゆきとし）師

1958 年生まれ。67 歳。大谷大学卒業。

専福寺住職。真宗大谷派東京宗務出張所（真宗会館）非常勤嘱託。同朋会館教導。

前真宗大谷派首都圏教化推進本部・本部員。元真宗大谷派東京教区駐在教導。

著書、『亡き方からのメッセージ』（冊子）

『亡き方の声に耳を澄ませて—僧侶 30 人のお彼岸のはなし—』（共著）

『僧侶 31 人のぽけっと法話集』（共著）

【参加人数】 金沢教区 25 名
 小松大聖寺教区 20 名
 能登教区 10 名
 福井教区 25 名
 富山教区 50 名 募集人員 130 名

【申し込み期限】 2026 年 3 月 6 日（金）（別紙 参加申し込み名簿にて）

参加申込者の氏名・フリガナ・組・所属寺院・交通手段（団体バス・自家用車
 交通機関）・アレルギーの有無・ほか特記事項を各教務所へお知らせ下さい。
 教区ごとに集約して富山教務所へご報告下さい。

アレルギーをお持ちの方は後日、アレルギーシートの提出をお願いします。

【携行品】 念珠・勤行本・真宗聖典・筆記用具・その他必要な物（保険証・常備薬等）

【感 話】 各教区より 1 名お願いいたします。（持ち時間 3 分）

【各教区発表】 各教区でテーマを決めて、発表していただきます。事前にご準備をお願いします。
 発表時間は 15 分とし、プロジェクター等をご用意しております。申し込み
 時に準備品をご連絡下さい。

【日 程】

5 月 11 日（月）		5 月 12 日（火）	
12:00	受付（受付後、写真撮影）	7:00	おあさじ・感話
13:00	開会式・オリエンテーション	7:45	朝食
13:45	講義Ⅰ	9:00	講義Ⅲ
14:35	休憩	9:50	休憩
14:50	講義Ⅱ	10:05	講義Ⅳ
15:30	各教区の発表	10:45	質疑応答
17:00	部屋へ移動	11:00	閉会式 解散
17:30	おゆうじ・感話	※日程は、都合により変更することがあります ですので、ご了承下さい。	
19:00	夕食 日程終了		

※参加費は当日、各教区で取りまとめた上、ご持参ください。

※参加者名簿の変更は 5 月 1 日（金）午前中で締め切りとさせていただきます。

以降のキャンセル料は全額のご負担をお願いいたします。

※昼食は、両日とも各自でお済ませ下さい。

※各自の荷物は荷物置き場を設けますので、そちらに置いて下さい。

※当日の YouTube 配信はございません。



送迎バスのご案内

●送迎バスをご利用になりたい方は申込時にご連絡下さい。発着は新高岡駅を考えております。